

火野葦平 小説家。戦時下に"兵隊作家"として華々しく活躍，<敗戦>後は"戦犯作家"の烙印，復活するも自殺。

ひのあしへい

韓国反日暴動1907 = 福岡県若松で，沖仲仕の組頭玉井金五郎の長男に生まれる。母はマン。本名勝則。

明治天皇没・1912 = 5歳：
大正政変・・1913 = 6歳：若松尋常小学校に入学。

民本主義・・1916 = **9歳**：

第一次大戦終結・1919 = 12歳：卒業し，県立小倉中学校に入学。

原敬首相暗殺1921 = 14歳：
水平社結成・1922 = 15歳：同人雑誌{揺籃}に短編「女賊の怨霊」を発表するなど，文学活動を行い始め，
関東大震災・1923 = 16歳：4年修了で，早稲田第一高等学院に入学，

治安維持法・1925 = **18歳**：童話集「首を売る店」を自費出版。
円本時代始・1926 = 19歳：早稲田大学文学部英文科に進学すると，同人雑誌{街}を発行し，
金融恐慌・・1927 = 20歳：同人雑誌{聖杯}を創刊して，小説や詩を発表，
共産党事件・1928 = 21歳：福岡第24歩兵連隊に幹部候補生として入り，除隊後，労働運動に関心を抱き，復学せずに，
世界恐慌・・1929 = 22歳：中退して，家業{玉井組}を継ぎ，友人らに文学廃業宣言。
海軍軍縮条約1930 = 23歳：結婚。
満州事変・・1931 = 24歳：若松港沖仲仕労働組合を結成して書記長になり，ゼネストを敢行。北九州プロレタリア芸術連盟を結成して，{同志}を発行するも，毎号発禁となり，
五一五事件・1932 = 25歳：上海事変が起きると，組員とともに中国に渡り，帰国したところ検挙され，転向。
帝人疑獄事件1934 = **27歳**：小倉の同人誌{とらんしつ}に参加して，文学に復帰，「山上軍艦」などを発表。
芥川直木賞始1935 = 28歳：福岡で発行の{九州文学}に参加，{九州芸術}の同人となる。

日中戦争始・1937 = 30歳：*久留米で発行{文学会議}に参加し，「山芋」「河豚」「糞尿譚」を発表。詩集「山上軍艦」出版。応召し，
健保+総動員 1938 = 31歳：中国上陸後，「糞尿譚」の芥川賞受賞を知る。戦地から送った従軍記「麦と兵隊」が評判を得，
第二次大戦始1939 = 32歳：続く「土と兵隊」，「花と兵隊」3部作いずれもベストセラーで，除隊して帰還後，
大政翼賛会・1940 = 33歳：*朝日文化賞，福岡日日文学賞。
日米開戦・・1941 = 34歳：
・・・・・1942 = 35歳：報道班員として，フィリピン作戦に従軍。
創価学会検挙1943 = **36歳**：「陸軍」，
年金+総武装 1944 = 37歳：インパール作戦にも従軍し，
敗戦・・・・1945 = 38歳：西部軍報道部の囑託となるが，<敗戦>となり，福岡に在住するうち，

極東裁判決・1948 = 41歳：*「戦犯作家」の烙印を押されて公職追放，
三大事件・・1949 = 42歳：「青春と泥濘」を書き，
朝鮮戦争始・1950 = 43歳：父が死去。
独立回復・・1951 = 44歳：
メーデー事件・1952 = **45歳**：解除，
TV放送始・・1953 = 46歳：*父の死去踏まえた自伝的長編の「花と竜」で復活し，

インスタントマン・1958 = 51歳：*国務省の招待で，アメリカ旅行。自選「火野葦平選集」出版
美智子妃・・1959 = 52歳：*「革命前後」によって文学的力量を発揮したが，
安保闘争・・1960 = 53歳：*睡眠薬で，自殺した。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，インターネット，